

課題	・ 空き家所有者や空き家利活用希望者から能動的に相談・申込みがくる仕組みが必要である。 ・ 低価格だが建て替えできない物件や、改修が必要だが所有者が費用をかけたくない物件等、今までの流通促進手法では成約が困難な物件への新たな対応が求められる。 ・ 空き家利活用希望者の対応強化や成約が困難な物件に対する新たな対応策の実施等に伴い事務局業務の増加や運営費用の発生等が見込まれる。
目的	・ 空き家所有者情報の安定的収集及び利活用希望者情報の効率的収集 ・ 成約が困難な空き家の流通促進 ・ いこま空き家流通促進プラットフォームの組織体制強化
取組内容	【ア】先進事例研究会及び先進地視察研修会の実施 【イ】郵便局等の空き家情報をよりキャッチしやすい組織と連携し、新たに発生した空き家を把握する体制の整備 【ウ】空き家利活用希望者への対応体制の強化 【エ】流通に至らない物件に対する新たな対応策の検討・実施 【オ】プラットフォームの組織体制の強化
成果	【ア】泉北ニュータウンへの視察・事例研究 【イ】郵便局と連携したプラットフォーム利用促進 【ウ】利活用対応チームの再編と問い合わせ対応 【エ】利活用希望者との空き家マッチングイベントの開催 【オ】業種間連携の推進・自主財源の確保(会則・運営マニュアルの作成)

【ア】泉北ニュータウンの視察

学び・気づき
・関係者が少ないコンパクトな民間組織の強み・弱み
・中古物件見学ツアー等の事業を展開する狙い・工夫

【イ】郵便局でプラットフォームの申込が可能に

2020年9月から市内11か所で受付開始
・申込:1件→支援の開始

【ウ】利活用希望者への支援開始

・利活用対応チーム再編と問合せ窓口設置
利活用希望者用パンフレットの作成
・申込:10組



【エ】空き家マッチングセミナー開催・空き家見学会の企画

・市内のエリアごとの魅力・特長の紹介、流通困難物件の活用プランを提案。(オンライン開催)
・参加者:37名
・空き家見学会申込:10組
・困難物件成約:2件
空き家所有者の気持ちも変化



・困難空き家物件の見学会を企画。→感染症予防のため中止し、個別対応

【オ】組織体制の強化／業種間連携の推進・自主財源の確保

・体制強化策会議3回、意見交換会2回の開催。
・協議した会員義務、業種間連携の手順、会費、とりまとめ役会、等を盛り込んだ会則、運営マニュアルの作成